

歴史書

7

2011

No. 196



通信

藤堂家始祖「三河守景盛」の素顔／榎原 雅治

歴史書新刊ニュース〈5・6月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈5・6月〉

2011年歴史書ベストフェア出品／参加書店一覧

歴史書懇話会

藤堂家始祖「三河守景盛」の素顔

榎原 雅治

(東京大学史料編纂所教授)

滋賀県犬上郡甲良町在士の八幡神社は藤の名所として知られている。境内にある藤は、津の藩主藤堂家の祖と仰がれる「三河守景盛」が、応永年間、この地に石清水八幡を勧請したときに植えたものであり、当時は村も藤堂村と呼ばれていたという。周辺には藤堂姓も多く、この地は藤堂家の父祖の地とされ、境内には「藤堂高虎公出生地」の碑も建てられている。毎年5月、藤が満開となる日曜には藤切り祭が行われ、切り取られた藤の花は藤堂家に贈られている。

もっとも近世の藤堂家においても、その父祖についての正確な知識が確証をもって伝えられていたわけではない。二代藩主高次は家臣村瀬吉成らを在士に遣わして、土地の古老たちから父祖についての伝承を聞き取らせている。その結果は、諸書による調査結果とともに、近世中期の伊賀城代藤堂高文の編纂になる『宗国史外篇』に「系統一」としてまとめられている。同書に示された藤堂家の祖は三河守景盛なる人物である。景盛は中原姓で、足利將軍家に仕え、初めて「藤堂」を名乗ったとされる。その子は石見守景能と豊後守景富で、景富の子孫忠高の養子に

三井氏出身の源助（虎高、高虎の父）が入り、津藩の藤堂家につながっていくとされている。

これに対応する記事が東京大学史料編纂所所蔵の『歴名土代』に見られる。『歴名土代』とは、山科家で作られた中世後期から近世初頭にかけての四位・五位の官人の叙位記録であるが、そこからは末尾に示したような系譜が作成できる。

『宗国史外篇』の記述は近世初期における現地での聞き取り調査やさまざまな史料の調査を踏まえた研究成果であり、近世の大名系図に時に見られるような他家の系譜からの借用とは異なるが、それが朝廷の地下官人の叙位記録となぜ一致するのか、唐突という印象はぬぐえない。また応永ごろの人物とされる「三河守景盛」とは、一体どこでどのような活動をした人物なのか、その素顔は杳として知られていない。

一方、「藤堂豊後守」の名前は中世の公家日記の中にとときどき顔を出す。たとえば、文明13年（1481）正月5日、年始の挨拶に諸家を訪れた山科家の家司大澤久守に対し、広橋家では「藤堂豊後」と「左衛門大夫」が応対している（『山科家礼記』）。逆に長享3年（1489）4月4日には、

広橋家から使者として「藤堂豊後」が山科家を訪れている（同）。また文明10年（1478）7月10日には、3日前の七夕用に幕府御倉の糶井から禁裏に貸し出された花瓶と盆が、伝奏の広橋兼顕を通じて糶井に返却されているが、このときの糶井の受取状の宛先には「藤堂豊後守殿」と記されている（『兼顕卿記』）。また、その4日後、14日には盆の灯籠が広橋家から禁裏に進上されているが、この灯籠は「藤堂修理亮景家」が作ったものだった（同）。いずれも広橋家の家司としての藤堂氏の姿を伝えるものである。『兼顕卿記』にはこの他にも家司として「左衛門大夫景敦」「景持」らの名前が散見されるが、彼らはいずれも『歴名土代』に載る名前である。

では「三河守景盛」も広橋家の家司だったのだろうか。その姿を史料中に見いだすことができるだろうか。

南都の三大勅願法会についての記録『三会定一記』によれば、長享2年（1488）12月の維摩会の講師を勤めた権律師興意は広橋家の侍「藤堂参河守中原景能朝臣」の子であった。また寛正6年（1465）冬、当時広橋家が知行していた越前国坪江郷藤沢名の返還を求めて興福寺の学侶・六方が幕府に訴える事件があった。広橋家では「故なき強訴」としつつも、当主綱光の放氏をちらつかされ、やむなく返還に応じているが、このときの去渡状は「東堂三川入道明誉」が作成している（『大乘院寺社雑事記』寛正6年12月27日条）。これが興意の父である「三河守景能」のこと

であろう。「景能」は『歴名土代』では「三河守景盛」の長子とされている。

遡れば「景能」の名前は、応永年間に足利義持の伝奏として活躍した広橋兼宣の家司として『兼宣公記』に何度か登場する。応永30年（1423）、義持の伊勢参詣に随行した兼宣には「右京亮景能」らの家司が従い、翌年の兼宣の春日社参詣や兼宣の息宣光の南都下向にも「右京亮景能」が従っている（同記応永31年4月19日条、応永31年12月18日条）。また応永23年（1416）暮、翌年正月の白馬節会に参陣する官人の交名が姉小路明継から節会内弁の兼宣に提出されているが、その副状は「藤堂右京亮」に対して兼宣への披露を求める形式になっている（応永24年正月7日条）。景能が兼宣から信頼される家司であったことが知られよう。

注目されることに、『兼宣公記』をめくれば、景能と同時期の広橋家に「三河入道」と呼ばれる人物が仕えていたことがわかる。たとえば応永31年2月15日には、兼宣は「三河入道休所」で、宣光や弟の慈恩院兼暁とともに朝食をとっている。当時、朝食に親しい人を呼んで会食するのは公家社会で広く見られる習慣だった。同年11月21日には広橋家で開かれた粥の宴を「三河入道」が差配している。また応永33年3月25日、兼宣の母が逝去すると、翌日、兼宣は死に接する穢れを回避するため、自邸を出て「三河入道休所」で弔問客と対面している。

この「三河入道」なる人物は近江とも関係をもっていた。応永35年正

月、義持が死去、その6月、前年に広橋家から没収されていた近江国羽田庄が兼宣に返還されることになった。さっそく兼宣は「藤堂参河入道」にこの荘園を「元のごとくに」管理することを命じている。

同人らしき人物が初めて史料上に姿を現すのは『兼宣公記』応永11年(1404)6月20日条である。この日、足利義満の北山殿で営まれていた五壇法が結願した。この法会は兼宣が担当の奉行として仕切っていたのだが、法会の開始に先立って義満の娘の単衣と鏡の箱が兼宣の許に届けられている。法会で用いる撫物用だが、その送状の宛先には「藤堂殿」とある。もちろん兼宣への取次を委ねたものである。この「藤堂殿」が「三河入道」の若き日の姿であろう。

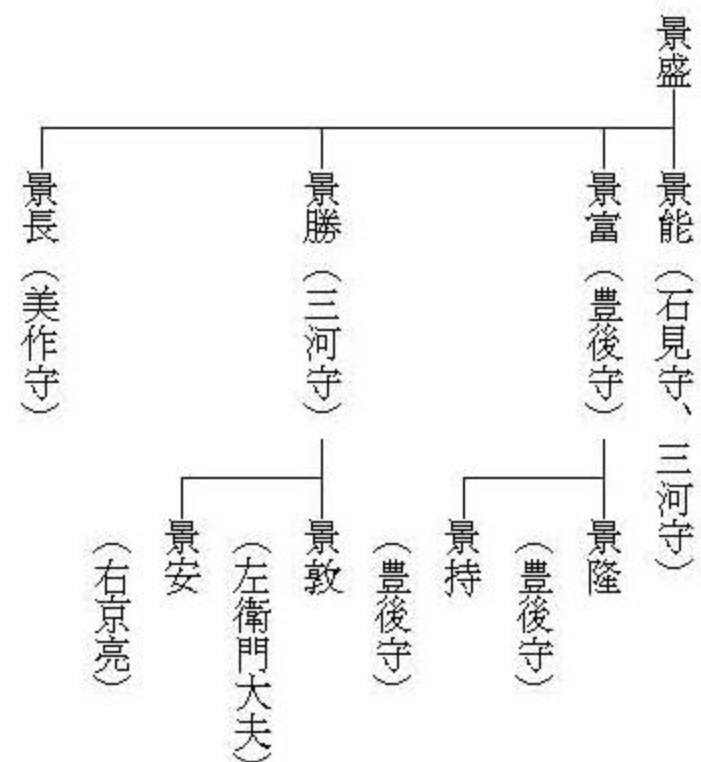
以上から浮かんでくる「三河入道」の姿は、兼宣から信頼され、広橋家の家政を仕切る広橋家重臣としてのそれである。「右京亮景能」が長じて「三河守」と名乗ることを考えれば、この「三河入道」こそが景能の父であり、求める藤堂家の始祖「三河守景盛」であることは明白だろう。

中世の公家の家司に家領と関係のある在地の武士が登用され、現地と京都の両方で活動していたことは日野家の例などで知られている(菅原正子『中世公家の経済と文化』吉川弘文館、1998年)。羽田庄は近江の蒲生郡に属し、在士とはやや離れているが、藤堂景盛も、元来近江の住人であったものが、家領支配の関係で広橋家と接点が生じ、広橋家に仕え、朝廷の官位を得るようになったので

はあるまいか。在士に残る景盛に関する伝承は、そうした史実に基づくものではないだろうか。

なお『大乘院寺社雑事記』長享元年(1487)12月30日条には、「広橋之内藤堂一門」が悉く討ち死にしたとの報が記されている。こののちも「藤堂豊後守」は活動しているが、確かに景能の子孫と思われる者は見られなくなる。『宗国史外篇』は、近世藤堂家は景能ではなく、その弟「豊後守景富」の系統に繋がると理解しているが、これは長享元年の異変の結果であるのかもしれない。

寒い日の続いた今年も藤の開花も遅く、私が在士を訪れた5月上旬、藤はまだ蕾だった。しかし八幡社の説明碑を読めば室町の公家日記の中に隠れていた「藤堂三河守」が、この地では人々の記憶の中に生きることが知られた。さりげない史料の記述と現代、その二つが繋がると実感できたのは、歴史研究にかかわる者として至福であった。



(表紙写真) 在士八幡宮。右手に藤棚がある。

新刊ニュース

5・6月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典/年表・地図/歴史学・補助学

歴史の周辺にて「サバルタンノート」注解

グラムシ「獄中ノート」著作集Ⅶ
アントニオ・グラムシ著 松田博訳
四六判 180頁 2,625円 明石書店〔5月刊〕

階級・制度の枠からこぼれる貧しく抑圧された民が歴史、社会にどう向き合うか。現代思想に圧倒的な影響を及ぼす幻の著作、本邦初の全訳・注解。 978-4-7503-3382-3

日本の食文化史年表

江原絢子・東四柳祥子編
菊判 436頁 5,250円 吉川弘文館〔6月刊〕

今日までの3万年間、日本人は何を食べてきたのか。生産・飢饉・事件などあらゆる事項を網羅。楽しみながら日本の“食”を理解する。 978-4-642-01459-5

地図でみるアフリカ系アメリカ人の歴史

大西洋奴隷貿易から20世紀まで
ジョナサン・アール著 古川哲史、朴珣英訳
B5判 148頁 3,990円 明石書店〔4月刊〕

アフリカ大陸からの到来、奴隷制、差別との闘い、大統領誕生まで、視覚化した地図と簡潔な解説によって歴史の全体像を把握できる入門書。 978-4-7503-3358-8

増補 歴史遊学

学習院大学文学部史学科編
A5判 296頁 2,415円 山川出版社〔6月刊〕

創立50年を迎えた学習院大学史学科の教授陣が、新たに歴史学を志す方々のために、「大学で学ぶ歴史学とは何か」を語る。

978-4-634-59072-4

はじめての漢籍

東京大学東洋文化研究所図書室編
四六判 210頁 1,890円 汲古書院〔5月刊〕

現在もなお、様々な知識を与えてくれる「漢籍」。漢籍整理の実務手引書として、一般読者・図書館員を「漢籍」の世界に誘う一冊です。 978-4-7629-2899-4

絵図学入門

杉本史子・磯永和貴・小野寺淳・ロナルド トビ・中野等・平井松午編
B5判 272頁 3,990円 東京大学出版会〔6月刊〕

中世・近世の人々の世界観や社会に対する認識など、多くを物語る絵図。その基礎知識から、調査・公開の具体的方法までを、それぞれの専門家がわかりやすく解説。絵図から歴史にアプローチする初の総合的入門書。 978-4-13-022023-1

領土・権威・諸権利

グローバル化・スタディーズの現在
サスキア・サッセン著 伊豫谷登士翁監修 伊藤茂訳
A5判 528頁 6,090円 明石書店〔4月刊〕

現代のグローバル化が中世そして近代という前時代との連関において、どのように基礎づけられ、転換しながら構築されてきたかを分析する。 978-4-7503-3372-4

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

伊勢国府・国分寺跡—古代伊勢の政治的中心地—

日本の遺跡43
新田 剛著
四六判 192頁 1,890円 同成社〔6月刊〕

近年明らかになった伊勢国府=長者屋敷遺跡の調査成果を中心に、国分寺や方格地割等の分析から古代伊勢の都市構成を総合的に描き出す。 978-4-88621-567-3

多様化する弥生文化

弥生時代の考古学 3

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

B 5判 262頁 5,250円

同成社〔5月刊〕

弥生中期を対象に、自然環境と社会変化の相互作用や、東アジア情勢との関わり、環濠集落の変容等を取り上げ、その特色を明らかにする。 978-4-88621-528-4

古墳時代への胎動

弥生時代の考古学 4

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

B 5判 248頁 予価5,250円

同成社〔6月刊〕

古墳時代につながる250年間を対象に気候の寒冷化と社会変動、中国・朝鮮との交渉等を背景に、遺構や遺物が示す意味を捉えなおす。 978-4-88621-562-8

遺跡と観光

市民の考古学 8

澤村 明著

四六判 160頁 1,680円

同成社〔5月刊〕

近年関心が集まる遺跡と観光の関係を中心に、両者の望ましいマネジメントの在り方について、経済学の立場からわかりやすく提言する。 978-4-88621-564-2

ヤマト王権はいかにして始まったか

唐古・鍵考古学ミュージアム/桜井市立埋蔵文化財センター編

四六判 200頁 2,468円

学生社〔5月刊〕

弥生時代に発生した新都市、唐古・鍵遺跡。弥生の墳丘墓から前方後円墳の出現は何を語るか。纏向遺跡でついに発見された大型建物は卑弥呼の王宮か。 978-4-311-20324-4

大和・纏向遺跡（第3版）

石野博信編

A 5判 576頁 10,500円

学生社〔5月刊〕

纏向遺跡の全貌が一冊でわかる本。卑弥呼の邪馬台国の宮殿かと全国から注目された大型建物、祭祀を連想させる大量の桃の種など発掘の最新成果を増補。 978-4-311-30496-5

AMS年代と考古学

高倉洋彰・田中良之編

A 5判 240頁 3,990円

学生社〔5月刊〕

弥生時代は本当に500年もさかのぼるのか。AMSのC14の新しい暦年代を再考。東北アジアとの日本の弥生時代前・中・後期の暦年代論を新構築する。 978-4-311-30082-0

平城宮第一次大極殿院跡

本文編・図版編（全2冊）

奈良文化財研究所編集・発行（吉川弘文館発売）

A 4判 総756頁 29,400円 吉川弘文館〔6月刊〕

平城京遷都1300年の時を経て、いま甦る古代宮都の正殿。永年の発掘成果と高精細印刷を駆使してその全容に迫る、待望の正報告書。 978-4-642-09381-1

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

日本思想史事典

石田一良・石毛忠編

菊形 464頁 5,985円

東京堂出版〔6月刊〕

日本思想の流れを中分類の200項目で簡潔に解説した事典。通史編と人物編の二部構成とし、70人の研究者が時代の思想、作品や人物120人を分担執筆。 978-4-490-10796-8

鎌倉古社寺辞典

吉川弘文館編集部編

四六判 320頁 2,835円

吉川弘文館〔6月刊〕

約150カ所を収録し、エリア別に由緒や歴史を図版も交え平易に解説。略地図、関係人物略伝、年中行事一覧、索引など付録も充実。 978-4-642-08060-6

伝統都市を比較する 一飯田とシャルルヴィール

別冊年報都市史研究

高澤紀恵、吉田伸之、フランソワ＝ジョセフ・ルジウ、ギョーム・カレ編

B 5判 312頁 5,460円

山川出版社〔6月刊〕

2010年8月に飯田市で開催したラウンド・テーブルの記録。小規模な伝統都市である城下町飯田とフランスの要塞都市シャルルヴィールを比較典型的に把握。 978-4-634-52714-0

近代化する日本

日本の対外関係 7
 荒野泰典・石井正敏・村井章介編
 A 5判 360頁 6,300円 吉川弘文館〔5月刊〕

条約・文化・貿易などの局面であたらしい価値観に直面し、欧米列強の「外圧」から近代の再編を成し遂げた、「開港」後の日本を描く。
 978-4-642-01707-7

天龍寺文書の研究

原田正俊編
 A 5判 716頁 14,700円 思文閣出版〔5月刊〕

京都嵯峨、天龍寺に関する文書を研究・解説。第1部に鎌倉時代～慶長5年の中世天龍寺関係文書・関連諸塔頭文書を掲載、第2部に解説・論考を収録。 978-4-7842-1571-3

図解 古事記と日本書紀

知識ゼロでもわかる 記紀のあらすじ
 森村宗冬著
 四六変型判 224頁 1,000円 新人物往来社〔4月刊〕

知っているようで知らない古事記・日本書紀を、あらすじで読んでみよう！ 見開き図解でわかりやすく解説。
 978-4-404-04008-4

家康公伝3 【逸話編】三河から関東の覇者へ

現代語訳徳川実紀
 大石 学・佐藤宏之・小宮山敏和・野口朋隆編
 四六判 286頁 2,835円 吉川弘文館〔5月刊〕

人質生活から、幾多の戦いを経て大大名へ成長し、秀吉の死後の関ヶ原の戦い前夜まで、さまざまなエピソードを集めた、逸話編第一冊。
 978-4-642-01813-5

日本古代国制史論

佐々木宗雄著
 A 5判 320頁 11,550円 吉川弘文館〔6月刊〕

東アジアの隣国、唐や新羅と比較し、日本の国制の独自性に迫る。大化前代・律令国家・王朝国家の特質と転換を明らかにした注目の書。
 978-4-642-02482-2

古代官道の歴史地理

古代史選書9
 木本雅康著
 A 5判 288頁 6,825円 同成社〔6月刊〕

歴史地理学的方法で、古代律令制下の諸施設に優先して作られた官道を、道路のみに限局されない歴史総体を復原する鍵として検討する。
 978-4-88621-569-7

古代宮都の内裏構造

橋本義則著
 A 5判 352頁 11,550円 吉川弘文館〔6月刊〕

天皇が居住し、宮都の中心をなす重要な区画である内裏の構造を、考古学と文献史料の成果から分析。新たな古代宮都研究の方法を示す。
 978-4-642-02481-5

すべての道は平城京へ

古代国家の(支配の道) 歴史文化ライブラリー-321
 市 大樹著
 四六判 256頁 1,890円 吉川弘文館〔5月刊〕

平城京へと集束していた幹線道路「七道」の、行き交う人・情報の動きや駅・伝馬制の成立過程を文献史料から解明。その実像に迫る。
 978-4-642-05721-9

平清盛 「武家の世」を切り開いた政治家―

日本史リブレット人25
 上杉和彦著
 A 5変型判 96頁 840円 山川出版社〔5月刊〕

多様な史料を用いて清盛の生涯を追いながら、日本の政治を武士が主導する新たな時代の幕を開けた清盛の姿を描く。
 978-4-634-54825-1

岡倉天心と大川周明 「アジア」を考えた知識人たち―

日本史リブレット人84
 塩出浩之著
 A 5変型判 104頁 840円 山川出版社〔5月刊〕

「アジア」の概念について、岡倉天心・大川周明という二人の知識人が展開した言論活動について分析し、近代日本にとっての「アジア」の意味を考える。 978-4-634-54884-8

中世地域社会と将軍権力

菱沼一憲著
 A 5判 400頁 12,600円 汲古書院〔5月刊〕

史上初の武士政権である「鎌倉幕府」はどのように成立し、統治制度を確立していったのか。院政時代から幕府体制への変換過程を明らかにする。 978-4-7629-4210-5

紀伊国栲田荘

中世史選書9
海津一朗編

A 5判 304頁 6,825円

同成社〔5月刊〕

紀ノ川河川敷で発掘された河川堤防跡の調査をもとに展開され、長期にわたってなされた栲田荘をめぐる学際的研究の成果を集約。荘園史研究に新たな展望を描く。

978-4-88621-560-4

中世社会史への道標

中世史選書10
阿部 猛著

A 5判 340頁 7,875円

同成社〔6月刊〕

中世の人のびとの多様な営みをめぐる諸論考を綴じ合わせ、中世の社会像を浮かび上がらせた、積年の研究の結晶。

978-4-88621-568-0

親鸞伝の研究

「赤松俊秀著作集」第1巻
名畑 崇解説

A 5判 384頁 12,600円

法蔵館〔6月刊〕

綿密な実証と斬新な発想で定評のある『鎌倉仏教の研究 正・続』の親鸞関係論文を収録する。第一線の研究者の解説と索引付。

978-4-8318-3346-4

古代中世社会経済史研究

「赤松俊秀著作集」第3巻
勝山清次解説

A 5判 600頁 21,000円

法蔵館〔6月刊〕

「菅浦文書」「平安遺文」など、多くの史料を深く読み込んだうえで、庶民を基軸に据えた市民的歴史学を樹立した赤松俊秀。いまなお注目に値する、その不朽の成果を収載する。

978-4-8318-3348-8

中世 災害・戦乱の社会史

歴史文化セレクション
峰岸純夫著

四六判 280頁 2,415円

吉川弘文館〔6月刊〕

災害・戦乱に対する危機管理を通し、民衆史の視点から実態に迫る。中世社会史の新たな側面を探り、現代の危機管理に警鐘を鳴らす。

978-4-642-06372-2

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

A 5判 656頁 11,550円

思文閣出版〔5月刊〕

東寺文書に魅せられた中世史研究者により続けられた東寺文書研究会の研究成果第2弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

978-4-7842-1578-2

織豊期主要人物居所集成

藤井讓治編

B 5判 480頁 7,140円

思文閣出版〔6月刊〕

織豊期を生きた政治的主要人物の移りゆく居所の情報を通時的にまとめた研究者必携の書。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、足利義昭など25名。

978-4-7842-1579-9

刻印石で楽しむ 三大名城の石垣物語

もうひとつの城の楽しみ方
菅野良著

四六判 224頁 1,470円

新人物往来社〔3月刊〕

城の石垣、とくに刻印石に焦点を当て、豊臣・徳川時代のいわゆる「天下普請」の実態に迫り、当時の城郭の構造、作り方まで解明する。また、城だけでなく、大名たちの石垣争奪戦にもなった採石場跡の事態も検証する。

978-4-404-03991-0

新「関ヶ原合戦」論

定説を覆す史上最大の戦いの真実
白峰 旬著

四六判 192頁 1,470円

新人物往来社〔3月刊〕

これまで理解されてきた天下分け目の関ヶ原の戦いは実は歴史の真実ではなかった。後世作られた家康側からみた関ヶ原の記録を一つ一つ同時代史料によって再検討してみると全くちがった新しい戦いの全体像が見えてくる。新視点で読み解く関ヶ原の戦い。

978-4-404-03992-7

戦国武将の合戦図

あの武将はここにいた！
小和田哲男監修

A 5判 160頁 1,890円

新人物往来社〔3月刊〕

戦国時代の合戦を描いた屏風絵は、一つの合戦に関して複数存在する。その一つ一つの違いを、描かれた理由、時代などを明らかにしながら、具体的に拡大図などを使い、何が描かれているのかを読み解く。

978-4-404-03990-3

戦国時代の足利将軍

歴史文化ライブラリー323
山田康弘著

四六判 200頁 1,785円

吉川弘文館〔6月刊〕

戦国時代の100年間、なぜ将軍は滅亡しなかったのか。各地の大名は将軍をどう見ていたのか。知られざる将軍・幕府の実態を解明する。

978-4-642-05723-3

十九世紀民衆の歴史意識・由緒と天皇

歴史科学叢書

吉岡 拓著

A 5判 390頁 9,450円

校倉書房〔5月刊〕

19世紀京都民衆の天皇認識の変遷、近代天皇制の受容課程の解明を課題に、平安京遷都を重視する歴史認識、近代社会における「勤王」の意味を検討した。978-4-7517-4310-2

日本近世の宗教と社会

菅野洋介著

A 5判 380頁 8,190円

思文閣出版〔5月刊〕

奥州と関東を主に、戦国期以降の仏教・神道・修験道・陰陽道等と地域社会との関わりを、東照宮や寛永寺を中心とした幕府権威をも視野にいれて考察。978-4-7842-1572-0

一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷和比古編

A 5判 540頁 8,925円

思文閣出版〔6月刊〕

独自性に満ちた文化的発展を見せた日本の18世紀は、グローバルな環境下でいかにして形成されたか。国際日本文化研究センター共同研究の成果23篇。978-4-7842-1580-5

江戸時代の古文書を読む 徳川の明治維新

徳川林政史研究所監修

B 5判 164頁 2,520円

東京堂出版〔5月刊〕

江戸時代の古文書を読むシリーズの9冊目。江戸城の引渡しや旧幕臣の駿河移住などに関する古文書を読み、徳川方から見た明治維新を解説する。978-4-490-20737-8

比較史的にみた近世日本

「東アジア化」をめぐる

趙景達・須田努編

A 5判 360頁 3,360円

東京堂出版〔5月刊〕

近世史研究は脱亜的か。東アジアの近世化を巡る近年の重い問いかけに気鋭の研究者が応答し、今後の研究視角を討論。白熱のシンポ記録の書き下ろし。978-4-490-20736-1

近世前期朝幕関係の研究

田中暁龍著

A 5判 280頁 10,500円

吉川弘文館〔6月刊〕

天皇の意志を明確化する朝廷に対し、家綱・綱吉政権は統制を強化した。幕府の対朝廷政策を検証し、朝幕関係の実態を究明する。978-4-642-03448-7

「蛮社の獄」のすべて

田中弘之著

四六判 352頁 3,990円

吉川弘文館〔6月刊〕

「蛮社」の由来でもある尚齒会は弾圧されず、多くの謎が存在する事件。奉行所での取り調べや判決の周辺にも目を通し、実像に迫る。978-4-642-08059-0

歴史人口学で読む江戸日本

歴史文化ライブラリー324

浜野 潔著

四六判 224頁 1,785円

吉川弘文館〔6月刊〕

歴史人口学から、江戸時代の少子化社会や子ども手当「赤子養育仕法」を解明。現代の少子高齢化などの問題解決への手がかりを提示する。978-4-642-05724-0

「韓国併合」100年と日本の歴史学

「植民地責任」論の視座から 歴史学の現在13

歴史学研究会編

四六判 422頁 4,200円

青木書店〔6月刊〕

私たちの「植民地責任」を問い直す。日本において最近数十年の間に展開を遂げた植民地支配とその責任をめぐる歴史研究のあり方を再検討し、今後の方向性を示す。978-4-250-21106-5

地図から消えた島々

幻の日本領と南洋探検家たち 歴史文化ライブラリー322

長谷川亮一著

四六判 270頁 1,890円

吉川弘文館〔5月刊〕

中ノ島島、グランパス島…。地図上に確かに存在し、やがて実在しないことが判明したまぼろしの島々の、誕生から消滅までの謎を解く。978-4-642-05722-6

昭和天皇のごはん

おいしい話と秘伝のレシピ

谷部金次郎著

四六判 176頁 1,470円

新人物往來社〔3月刊〕

昭和天皇の料理番だけが知る、意外な素顔とおいしいエピソード、秘伝のレシピ。昭和天皇皇后両陛下についてのエピソードや料理番たちの、なかなか表に出ない日常や出来事を、それにまつわる料理レシピとともに紹介。978-4-404-03966-8

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

モンゴル帝国の覇権と朝鮮半島

世界史リブレット99

森平雅彦著

A 5 変型判 96頁 765円 山川出版社〔5月刊〕

厳しい国境環境下で、自己存在の定立をはかろうと、複雑に巧みに道を模索したその時代の朝鮮半島の人々の動きを捉える。

978-4-634-34937-7

十字軍と地中海世界

世界史リブレット107

太田敬子著

A 5 変型判 96頁 765円 山川出版社〔5月刊〕

十字軍の時代を、イスラームとキリスト教の共通の場である地中海を通じたダイナミックな動き、人びとのいとなみにまなざしをあてて、紹介する。

978-4-634-34945-2

一六世紀イングランド農村の資本主義発展構造

大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書 第18冊

松村幸一著

A 5 判 654頁 14,700円 思文閣出版〔5月刊〕

大阪経済大学日本経済史研究所所長等を歴任した故人の16世紀イングランド農村史研究の主要な論文を一書に編成。巻末に参考文献と索引を付す。

978-4-7842-1575-1

ヨーロッパ・ジェンダー文化論

女神信仰・社会風俗・結婚観の軌跡

浜本隆志、伊藤誠宏、柏木治、森貴史、溝井裕一著

四六判 288頁 2,520円 明石書店〔3月刊〕

古代の女神信仰と女性祭司、魔女狩り、近代ヨーロッパの結婚と非婚、メルヘンにおけるジェンダーの問題、フランス革命と女性など。

978-4-7503-3368-7

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教

教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

おくのほそ道探訪事典

工藤寛正編著

菊判 650頁 予価6,825円 東京堂出版〔6月刊〕

「おくのほそ道」と曾良「随行日記」により旅の全行程を90余の寄泊地で立項して詳解。文学や歴史書では行き届かない様々な情報を網羅集めた。

978-4-490-10800-2

山岳修験への招待

雲山と修行体験

宮家 準編

四六判 224頁 1,470円 新人物往来社〔3月刊〕

深山に分け入りたい、瀧に打たれたいと思う人が、まず手軽に手に取れる入門書。実際の修験経験者が語る山岳修験の真髄。

978-4-404-03989-7

語られた親鸞

塩谷菊美著

四六判 315頁 3,150円 法蔵館〔5月刊〕

多くの「親鸞伝」はどのように作られ、読まれてきたのか。国語学の立場から、史実を伝えるものではなく、信者の思いや真宗の教えを伝える物語としての親鸞伝を読み解く力作。

978-4-8318-6062-0

密教美術と歴史文化

真鍋俊照編著

A 5 判 700頁 10,185円 法蔵館〔5月刊〕

密教学、仏教学、図像学、日本史学の諸分野を取り巻く、最新学術論考27篇。津田徹英、森雅秀、武内孝善、内田啓一、頼富本宏、立川武蔵、ドナルド・キーンほか。

978-4-8318-6365-2

中世南都仏教の展開

追塩千尋著

A 5 判 320頁 11,550円 吉川弘文館〔6月刊〕

僧侶と寺院の動向を検証することにより、鎮護国家の祈願に奉仕した南都仏教の実態に迫る。著者中世南都仏教研究の三部作をなす。

978-4-642-02901-8

中国の吉祥文化と道教

祝祭から知る中国民衆の心

奈良行博著

A 5判 216頁 3,360円

明石書店〔3月刊〕

春節、中元の行事、吉祥文化の縁起担ぎ、郷土信仰と結びついた祭り、在日中国コミュニティの祭りなど、生活に根ざした祝祭を通して道教を読み解く。 978-4-7503-3379-3

William Smith Clark の教育思想の研究

札幌農学校の自由教育の系譜

小枝弘和著

A 5判 380頁 3,150円

思文閣出版〔5月刊〕

アメリカにある関連資料や、手紙などの資料をも活用し、“Boys, Be Ambitious!”で知られる、ウィリアム・スミス・クラークの教育思想の全体像を明かす。 978-4-7842-1561-4

同志社女学校史の研究

宮澤正典著

A 5判 374頁 2,940円

思文閣出版〔5月刊〕

同志社女学校の明治10年～昭和20年までについて、新島襄と女子教育、同志社女学校と朝鮮、昭和戦時下の同志社女子部など、個別詳細に論じる。 978-4-7842-1574-4

源氏物語絵巻

美麗な絵とあらすじで読む「源氏物語」の世界

新人物往来社編

A 5判 160頁 1,890円

新人物往来社〔4月刊〕

華麗なる物語を「絵巻」と「あらすじ」で読む! 源氏物語の全54帖(話)の、一話ごとに華麗なる「絵巻」と「あらすじ」を見開き単位で掲載。源氏物語の世界が、誰でも簡単にわかる。 978-4-404-04007-7

古典日本語の世界 二

文字とことばのダイナミクス

東京大学教養学部国文・漢文学部会編

A 5判 272頁 2,520円

東京大学出版会〔5月刊〕

現在の日本語が形づくられた背景と、文字とことばが織りなす変容の動力にせまる。ことばが時間を経て受け継がれ、そして新たな一面が生まれる空間を、縦横に描きだす。 978-4-13-083057-7

仮名草子集成 第47巻

第47回記本(全70巻)

深沢秋男・伊藤慎吾・入口敦志・花田富二夫・和田恭幸・安原真琴編

A 5判 256頁 18,900円

東京堂出版〔6月刊〕

案内記・評判記・教訓物・笑話など仮名草子約250編を網羅。本巻は「醍醐随筆」「沢庵和尚鎌倉記」「大仏物語」「竹斎東下」など6作品を収録する。 978-4-490-30632-3

人間交流の江戸美術史(仮)

タイモン・スクリーチ著 村山和裕訳

A 5判 208頁 2,940円

東京大学出版会〔6月刊〕

鎖国政策により厳しく貿易が制限されていた江戸中期。実は、出島ではオランダ東インド会社を通してさまざまなヒトやモノが行き来していた。その時期に来日した外国人学者たちの知られざる豊かな人間交流を描きだす。 978-4-13-083056-0

戦国時代狩野派の研究(新装版)

狩野元信を中心として

辻 惟雄著

A 4判 420頁 31,500円

吉川弘文館〔5月刊〕

日本絵画史上最大の流派、狩野派の初期形成過程を解明した名著。文献と作品に即し、政治史・社会史などの動向を視野に入れて考察。 978-4-642-07913-6

地獄絵

古来、日本人はなにを恐れ、なにに救いを求めてきたのか。

新人物往来社編

A 5判 144頁 1,890円

新人物往来社〔4月刊〕

叫喚地獄、焦熱地獄、阿鼻地獄、黒繩地獄……。日本人が信じてきた地獄が、絵で見てわかる。

978-4-404-04005-3

人麻呂の工房

福岡耕二著

A 5判 448頁 12,600円

塙書房〔5月刊〕

I 人麻呂歌集論序説、II 人麻呂歌集の分類と中国詩学、III 人麻呂の工房を探る、IV 漢文訓読と人麻呂歌集にて、人麻呂歌集詩体歌や万葉歌の表記の問題を考察する。 978-4-8273-0117-5

都市の戦後

雑踏の中の都市計画と建築

初田香成著

A 5判 404頁 7,560円

東京大学出版会〔5月刊〕

終戦から60年代までを軸に、「震災復興」「不燃化運動」「都市再開発」の3つの主題から、多様な主体が交錯する社会的運動として都市計画を描きだし、そこから浮かび上がる戦後「都市」の可能性に迫る。 978-4-13-066853-8

沖縄学事始め

泉 武著

四六判 250頁 予価2,625円 同成社〔6月刊〕

沖縄諸島に伝わる民話を手がかりに今なお人びとの生活に息づく古来の民話を訪ね歩き、その文化や歴史とともに「沖縄」の本質に迫る。 978-4-88621-570-3

ハンセン病者の軌跡

小林慧子著

四六判 280頁 2,625円 同成社〔5月刊〕

かつて「隔離政策」ゆえに社会から切り離され各地の施設に収容された人たちの聞き書きを中心に、彼らの歩んだ苛酷な人生を描き出す。 978-4-88621-566-6

日本のまつろわぬ民

漂泊する産鉄民の残痕

水澤龍樹著

四六判 272頁 1,890円 新人物往来社〔4月刊〕

日本史のなかで暗躍した“漂泊する民”の姿を、「鬼」や「天狗」、「河童」、「天神さま」、「猿」、「傀儡子」、「遊女」、「陰陽師」といった普段、妖しげなイメージを持たれている存在の由来や実像に迫ることで、浮き彫りにしていく「歴史読本」連載の書籍化。 978-4-404-04004-6

物部の民俗といざなぎ流

日本歴史民俗叢書

松尾恒一著

A 5判 250頁 7,350円 吉川弘文館〔6月刊〕

病氣治癒・家の神祭祀・祈雨の祈禱が伝わるいざなぎ流の特質を論じる。失われつつある自然への畏れと、その関わり方を問い直す。 978-4-642-07370-7

歌舞伎から江戸を読み直す

恥と情

田口章子著

四六判 192頁 1,890円 吉川弘文館〔5月刊〕

「恥」と「情」をキーワードに、仮名手本忠臣蔵などの歌舞伎作品から人々の生き方を再現。忘れ去られた日本人の伝統を問い直す。 978-4-642-08058-3

伝 記

式子内親王私抄

ほのかな美の歌

沓掛良彦著

四六判 260頁 3,360円 ミネルヴァ書房〔7月刊〕

藤原俊成に師事し多くの優れた歌を遺した式子内親王。いまもおファンが多い式子に古今東西の女流歌人の研究で知られる著者が迫る。 978-4-623-05050-4

グルー

真の日本の友

廣部 泉著

四六判 350頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔5月刊〕

本書では、あまり知られていない来日以前の歩みも含めて、国際政治の影の立役者の活躍を鮮やかに描き出す。 978-4-623-06062-7

地 理

いちばん行きたい世界遺産 ベストセレクション88

人間が造り、自然が生んだ奇跡！

平川陽一著

A 5判 232頁 1,890円 新人物往来社〔4月刊〕

ヨーロッパ、アジア、オセアニア、南北アメリカ、アフリカにわけて、約80の世界遺産を美しいビジュアルで紹介。巻末に遺産全リストつき。 978-4-404-04009-1

古代・中世遺跡と歴史地理学

金田章裕著

A 5判 256頁 9,975円 吉川弘文館〔6月刊〕

古代の駅路や宮都、条里遺跡や用水路遺構を事例として、古代・中世の景観を解明。図表を駆使し、歴史地理学の立場からアプローチする。 978-4-642-02483-9

関東の名城を歩く 北関東編

茨城・栃木・群馬

峰岸純夫・齋藤慎一編

A 5判 302頁 2,310円

吉川弘文館〔5月刊〕

茨城・栃木・群馬の三県から精選した名城64を、最新の発掘成果に文献による裏付けを加えて、詳細・正確な解説と豊富な図版で紹介。

978-4-642-08056-9

雑 誌

史林 第94巻 第3号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行

A 5判 112頁 1,200円

東京堂出版〔5月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化！ 年6冊。978-4-490-30670-5

日本歴史 6月号（第757）＝5月刊
7月号（第758）＝6月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔5・6月刊〕

安野光雅 絵画と人生

山川MOOK

山川出版社編

A 4判 208頁 予価2,200円 山川出版社〔6月刊〕

なぜ、あれほど優しいそして心豊かな絵が描けるのか。多くの人が魅了される安野ワールドの謎に迫る。

978-4-634-17004-9

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の——

人文社会図書新刊案内

2011.5・6

— 明石書店 —

- ウィーン・オーストリアを知るための57章【第2版】 広瀬佳一・今井顕編著
四六判 2,100円 4月
- 貧困とはなにか 概念・言説・ポリティクス リスター著 松本伊智朗監訳 立木勝訳
四六判 2,520円 4月
- 国を滅ぼすタカ派の暴論 ストップ! 戦争への道 一本松幹雄著四六判 1,890円 5月
- 人類学の再構築 人間社会とはなにか ゴドリエ著 竹沢尚一郎・桑原知子訳
四六判 3,360円 5月
- 開発調査手法の革命と再生 貧しい人々のリアリティを求め続けて チェンバース著 野田直人訳
A 5判 3,990円 5月

— 東京大学出版会 —

- 生態学的知覚システム 感性をとらえなおす
 J. J. ギブソン著 佐々木正人・古山宣洋・三嶋博之監訳A 5判 5,040円 5月
- 在日コリアンと在英アイリッシュ オールドカマーと市民としての権利 佐久間孝正著
四六判 3,570円 5月
- 現代カナダ経済研究 州経済の多様性と自動車産業 栗原武美子著A 5判 5,460円 6月
- 「持たざる国」の資源論 持続可能な国土をめぐるもう一つの知 佐藤仁著四六判 2,940円 6月
- 現代の階層社会3 流動化のなかの社会意識 斎藤友里子・三隅一人編A 5判 5,040円 6月
- 経済法概説 第5版 松下満雄著A 5判 3,990円 6月
- 市場の力と日本の労働経済 技術進歩、グローバル化と格差 櫻井宏二郎著A 5判 5,040円 6月
- 言語科学の世界へ ことばの不思議を体験する45題 東京大学言語情報科学専攻編
A 5判 3,150円 6月

— 法 藏 館 —

- 「精神主義」は誰の思想か 山本伸裕著四六判 2,940円 5月
- 仏教社会福祉入門 日本仏教社会福祉学会編A 5判 予価2,100円 6月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

— お知らせ —

思文閣出版は6月29日より

京都市東山区古門前通大和大路東入元町335

に移転します。電話・Faxは変わりません。

2011年〔歴史書ベストフェア〕

出品／参加書店一覧

歴史を体感するこの一冊

青木書店

アメリカ・ジェンダー史研究入門 有賀夏紀ほか編	3,675円
知っておきたい中東Ⅰ 歴史教育者協議会編	2,940円
銭 貨 池 亨編	3,150円
餓死した英霊たち 藤原 彰著	2,625円
由緒の比較史 歴史学研究会編	4,725円

明石書店

若者に伝えたい中国の歴史 歩平ほか著 鈴木博訳	1,890円
若者に伝えたい韓国の歴史 李元淳ほか著 君島和彦ほか訳	1,890円
写真で見る在日コリアンの100年 在日韓人歴史資料館編著	2,940円
F.ベアト写真集1 幕末日本の風景と人びと 横浜開港資料館編	2,940円
F.ベアト写真集2 外国人カメラマンが撮った幕末日本 横浜開港資料館編	2,940円

校倉書房

中世北方の政治と社会 大石直正著	3,990円
村からみた近世 渡辺尚志著	3,990円

学生社

古代史からみた万葉歌 岸 俊男著	2,310円
日本神話を見直す 水野 祐著	2,415円
京都の歴史を足元からさぐる 一丹後・丹波・乙訓の巻― 森 浩一著	2,835円
石ひとすじ 左野勝司著	1,995円
古事記と日本書紀の謎 上田正昭ほか著	1,890円

汲古書院

書生と官員 中野日徹著	2,940円
鄭氏台湾史 林田芳雄著	3,990円
蘭領台湾史 林田芳雄著	4,725円

思文閣出版

東アジアのなかの日本 上田正昭著	2,520円
みやこの近代 丸山 宏 他編	2,730円
歴史のなかの天皇陵 高木博志 他編	2,625円
緒方洪庵 中田雅博著	2,625円
日本の心と源氏物語 岡野弘彦編	1,890円

新人物往来社

総図解 よくわかる日本史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる世界史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる徳川将軍家 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる天皇家の歴史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる日本の神社 渋谷 申博	1,470円

東京大学出版会

日本政治思想史 十七～十九世紀 渡辺 浩著	3,780円
大人のための近現代史 19世紀編 三谷・並木・月脚編	2,730円
社会学の歴史 奥井智之著	2,100円
日中歴史認識 服部龍二著	3,360円
史学概論 遅塚忠躬著	7,140円

東京堂出版

くずし字解説辞典 普及版 見玉幸多編	2,310円
くずし字用例辞典 普及版 見玉幸多編	6,090円
日本史年表 増補4版 東京学芸大学日本史研究室編	2,730円
古代出雲を知る事典 瀧音能之著	2,625円
伊豆諸島を知る事典 樋口秀司編	2,940円

刀水書房

戦争と人間の歴史 J. キーガン	2,310円
白人とは何か? 藤川隆男編	2,310円
百年戦争 城戸 剛	3,150円
ハイチの栄光と苦難 浜 忠雄	1,680円
イギリス発見の旅 指 昭博	1,680円

同 成 社

講談 日本通史 大濱徹也	2,940円
天皇と日本の近代 大濱徹也	1,995円
考古学でつづる日本史 藤本 強	1,890円
考古学でつづる世界史 藤本 強	1,890円
日本史年表・年号ハンドブック 阿部 猛	1,260円

塙 書 房

国境の植民地・樺太 三木理史著	1,890円
伊勢斎宮と斎王 榎村寛之著	2,415円
柳田國男と成城・沖縄・國學院 高見寛孝著	2,415円
八幡信仰 中野幡能著	1,000円
稻荷信仰 近藤喜博著	1,000円

法 藏 館

誰も書かなかった親鸞 伝絵の真実 同朋大学仏教文化研究所編	2,940円
白山信仰の源流 本郷真紹	2,415円
後醍醐天皇と密教 内田啓一	2,100円
秀吉の大仏造立 河内将芳	2,100円
エロスの国・熊野 町田宗鳳	2,730円

ミネルヴァ書房

50のドラマで知るヨーロッパの歴史 マンフレッド・マイ著	3,150円
西洋の歴史〔近現代編〕増補編 大下尚一編	2,520円
西洋の歴史〔古代・中世編〕山本 茂編	2,520円
オックスフォード ヨーロッパ近代史 T. C. W. ブランニング編著	4,200円

山川出版社

もういちど読む山川日本史 五味文彦・鳥海靖編	1,575円
もういちど読む山川世界史 「世界の歴史」編集委員会	1,575円
詳説日本史研究 特装版 佐藤 信 他編	3,500円
詳説世界史研究 特装版 木下康彦 他編	3,500円
世界史のための人名辞典 水村光男編著	1,575円

吉川弘文館

〇脚だったかもしれない縄文人 谷畑美帆	1,785円
鎌倉大仏の謎 塩澤寛樹	1,890円
博覧会と明治の日本 國 雄行	1,785円
ある文人代官の幕末日記 保田晴男	1,785円
平城京に暮らす 馬場 基	1,890円

第12回〈日本歴史学会賞〉発表 主催 日本歴史学会

日本史研究の発展と研究者への奨励を目的とする「日本歴史学会賞」は、同学会評議員の推薦に基づき、理事会における選考の結果、左記の通り第12回受賞者を決定しました。7月9日（土）開催の評議員総会において、本賞を贈呈します。

◆受賞者 長村祥知氏（京都造形芸術大学非常勤講師）

受賞論文「承久三年五月十五日付の院宣と官宣旨
—後鳥羽院宣と伝奏葉室光親—」

（『日本歴史』第744号〈2010年5月号〉掲載）

2011年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2011年4月1日現在

北海道	吾妻郡中之条町	戸田書店中之条店	新潟市	栄佳堂書店グリーンコート店
千歳市	沼田町	戸田書店沼田店	十日町市	ブックス平沢妻有店
稚内市	埼玉	埼玉	三条市	知遊堂
岩手県	さいたま市	板山明文堂西浦和店	新潟市	戸田書店新潟南店
紫波郡紫波町	さいたま市	ブックデポ書楽	新潟市	知遊堂赤道店
奥州市	狭山市	文教堂書店狭山店	小千谷市	宮脇書店小千谷店
秋田県	越谷市	文教堂書店東越谷店	長野県	誠林堂
秋田市	越谷市	竹島書店蒲生店	諏訪市	興文堂 i CITY
秋田市	鬼玉郡上里町	文教堂書店本庄店	東筑摩郡山形村	興文堂
山形県	川島町	葛屋書店川島インター店	松本市	興文堂
山形市	富士見市	東武新ふじみ野	伊那市	ニシザワいなっせ店
山形市	千葉	千葉	小諸市	竹澤書店野岸店
山形市	鴨川市	すばる書店鴨川店	山梨県	朗月堂
山形市	佐倉市	文教堂書店ユウカリが丘店	甲府市	都留文科大学学生協
米沢市	市川市	文教堂書店行徳店	都留市	富山県
米沢市	市川市	文教堂書店市川店	富山市	清明堂堀川店
米沢市	成田市	マキノ書店ポムベルタ店	富山市	文苑堂書店藤の木店
天童市	千葉市	文教堂書店小倉台店	高岡市	文苑堂書店新野村店
宮脇書店天童店	八街市	文教堂書店八街店	高岡市	文苑堂福田本店
宮城県	東京都	東京都	石川県	ブックス宮丸金沢南店
石巻市	千代田区	改造社書店丸の内国際ビル店	金沢市	文苑堂示野本店
白河市	大田区	文教堂書店糀谷店	金沢市	Booksふかざわエル店
いわき市	世田谷区	田中堂	金沢市	うつのみや金沢一番街店
相馬市	世田谷区	文教堂書店三軒茶屋店	金沢市	うつのみや金沢工大前店
南相馬市	世田谷区	文教堂書店経堂店	野々市町	福井県
茨城県	世田谷区	成城堂	大野市	カドヤ書店
水戸市	世田谷区	文教堂成増店	静岡県	静岡県
潮来市	板橋区	三成堂書店国分寺店	敷島郡長泉町	文教堂書店長泉店
古河市	国分寺市	神奈川県	伊豆の国市	文教堂書店大仁店
つくば市	神奈川県	長谷川書店ネスパ店	島田市	サンライズ六合店
栃木県	茅ヶ崎市	文教堂書店横浜北山田店	袋井市	サンライズ袋井店
黒磯市	横浜市	文教堂書店溝ノ口駅前店	焼津市	夢屋書店焼津店
足利市	川崎市	文教堂書店大船モール店	浜松市	安間書店
宇都宮市	鎌倉市	邦栄堂	浜松市	イケヤ高林店
宇都宮市	鎌倉市	新潟県	愛知県	竹内書店
宇都宮市	上越市	ブックトピアコスモス	安城市	正文館書店
今市市	長岡市	文信堂長岡店	名古屋市長区	正文館書店
群馬県	加茂市	番場堂書店		
高崎市	南魚沼市	せき書店		
高崎市				
高崎市				

名古屋市	文京堂書店	奈良県	奈良市	奈良市	豊住書店	広島市	フタバ図書MEGA店
一宮市	カルコス一宮店	奈良市	奈良市	奈良市	たつみ書店サンタウン店	島根県	
小牧市	カルコス小牧店	奈良市	奈良市	奈良市	啓林堂書店西大寺店	浜田市	吉田屋書店
知多郡東浦町	ザ・リブレット東浦	奈良市	奈良市	奈良市	啓林堂書店奈良ビブレ店	香川県	
名古屋市	ザ・リブレット熱田	和歌山県	橋本市	橋本市	ツモリ西武店	高松市	宮脇本店
一宮市	ザ・リブレット一宮店	和歌山県	田辺市	田辺市	多屋孫書店	高松市	宮脇書店総本店
名古屋市	ザ・リブレット千種店	和歌山県	田辺市	大阪府	大阪府	徳島市	徳島市
名古屋市	ザ・リブレット太閤店	和歌山県	田辺市	大阪府	ジュンク堂梅田	徳島市	徳島市
岐阜県		和歌山県	田辺市	大阪府	西坂書店	徳島市	徳島市
中津川市	矢野書店	和歌山県	田辺市	大阪府	喜久屋書店阿倍野店	板野郡	板野郡
中津川市	梅村書店	和歌山県	田辺市	大阪府	ロサヴィア虎谷		松山市
可児市	正文館書店可児広見店	和歌山県	田辺市	大阪府	ナカニシヤ書店通手門大学書館部		松山市
岐阜市	本店カルコス	和歌山県	田辺市	大阪府	呼文堂枚方市駅店		松山市
各務原市	カルコス各務原店	和歌山県	田辺市	大阪府	栗林書房本店		新居浜市
瑞穂市	カルコス穂積	和歌山県	田辺市	兵庫県	宮脇書店加古川店		今治市
本巣市	リブレット岐阜	和歌山県	田辺市	兵庫県	うみや書店太子南店		西条市
三重県		和歌山県	田辺市	兵庫県	西村書店		高知市
津市	青山書店	和歌山県	田辺市	兵庫県	赤穂書房		高知市
伊勢市	宮脇書店伊勢店	和歌山県	田辺市	兵庫県	大塚書店		北九州市門司
四日市市	宮脇書店パワーシティ四日市店	和歌山県	田辺市	兵庫県	黒田書店		福岡市中央区
名張市	ブックスアルデ	和歌山県	田辺市	岡山県	宮本書店		
鈴鹿市	宮脇書店鈴鹿店	和歌山県	田辺市	岡山県	宮脇書店平島店		別府市
滋賀県		和歌山県	田辺市	岡山県	紀伊國屋クレド		別府市
彦根市	太田書店	和歌山県	田辺市	岡山県	大真屋書店新保店		宮崎県
彦根市	サンミュージック彦根店	和歌山県	田辺市	岡山県	宮脇書店新笠岡店		都城市
草津市	平柿A・SQ	和歌山県	田辺市	岡山県	宮脇書店マルナカ今城玉島店		都城市
湖南市	山本書店	和歌山県	田辺市	岡山県	開進堂高梁店		都城市
高島市	玉垣芳文堂	和歌山県	田辺市	岡山県	荒木書店		
京都府		和歌山県	田辺市	岡山県	広島県		鹿児島市
京都市	葵書房	和歌山県	田辺市	岡山県	啓文社福山西		
京都市	葵書房洛西店	和歌山県	田辺市	岡山県	フタバ TERA		
京都市	BP文苑山科店	和歌山県	田辺市	岡山県			
福知山市	葛屋AVIX福知山店	和歌山県	田辺市	岡山県			
相模郡精華町	アカデミアけいはんな店	和歌山県	田辺市	岡山県			
亀岡市	宮脇書店亀岡サティ店	和歌山県	田辺市	岡山県			

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 (休業中) |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木畠本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F
☎06-4799-1090 |
| ジュンク堂書店 | 千日前店 | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7
Y. E. S. NAMBAビル |

ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2011年6月現在

歴史書懇話会ホームページ http://www.hozokan.co.jp/rekikon/	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法蔵館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/



日本最大の本の展示会

第18回

東京国際ブックフェア

あらゆるジャンルの本を特別価格で購入できます

※一部例外を除く

会期: 2011年7月7日[木]~10日[日]

※9日[土]・10日[日]は一般公開日

時間: 10:00~18:00

会場: 東京ビッグサイト

入場料: ¥1,200 (税込み)

(9日[土]・10日[日]に限り小学生以下は入場無料)

主催: 東京国際ブックフェア実行委員会
リード エグジビション ジャパン株式会社



歴史書懇話会も出展します

歴史書懇話会16社は今回も新刊書・話題書を取り揃え、皆様のご来場をお待ちしています。なお、ご来場の皆様に「歴史図書総目録2011」と「歴史書通信」(最新号)をさしあげます。お待ちしております!



本展の招待券を
もれなくプレゼント! (¥1,200相当)

プレゼントの応募は下記のいずれかの方法で

- ホームページからのお申込み
(PCサイト) www.bookfair.jp/inv/01/
(携帯サイト) <http://m.bookfair.jp/>
- FAXまたはハガキでのお申込み
①住所 ②氏名 ③職業(勤務先) ④電話番号 ⑤本誌名
を明記のうえ、下記宛先までお送りください。

※会期間近のお申込みの場合、「招待券引換証」をお送りします。

リード エグジビション ジャパン株式会社
「東京国際ブックフェア招待券プレゼント係」
〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18階
TEL: 03-3349-8507 FAX: 03-3349-8523

読書推進セミナー (事前申込制)

受講無料

7月9日[土] 13:00~14:30

今、なぜ読書が大切なのか?

国際医療大学大学院
臨床心理学専攻教授、精神科医
和田 秀樹氏



7月10日[日] 13:00~14:30

読書が「才覚」を創る

作家
曾野 綾子氏



www.bookfair.jp/dokusho/ でお申込みください。
(定員になり次第申込締切)

サイン会・トークショーなど、様々なイベントも実施!
(詳しくはホームページで)

最新情報はホームページで
www.bookfair.jp

ブックフェア 検索

携帯サイトはこちら



歴史書懇話会では、毎年6月に総会を開いています。今年の開催地は静岡。本稿執筆時はその直前ですが、当日の総会終了後は書店様、販売会社様とともに懇親会を開き、現状に関しての率直な意見交換とともに未来へ向けた希望を語ってくる予定です。また、今回は、特別ゲストとして、静岡在住の本多隆成先生、小和田哲男先生をお迎えし、いろいろとお話をお伺いする予定です。

さて、歴史書懇話会は今年も7月の東京国際ブックフェアに出展いたします。新刊書・話題書を取り揃え、皆様のご来場をお待ちしています。なお、ご来場の皆様に『歴史図書総目録2011』と歴史書通信（最新号）を差し上げます。ぜひ、足をお運びくださいませ。

.....歴懇フェアのお知らせ.....

●月代わりで、「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の6書店で開催しています

- ◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）
- ◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）／◇ブックデポ書楽（さいたま市）
- ◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

●ジュンク堂書店新宿店「これが歴史書だ！フェア」

第29回目「歴史書懇話会フェア 激動の昭和・15年戦争」

6月1日～7月15日

弥生時代の考古学〔最新刊〕設案・藤尾・松木編
③ 多様化する弥生文化

B 5判・二六二頁・五二五〇円
 弥生中期を対象に、自然環境と社会変化の相互作用や、環濠集落の変容等の特色を明らかにする。

伊勢国府・国分寺跡

新田 剛著 四六判・一八二頁・一八九〇円

遺跡と観光

澤村 明著 四六判・一六〇頁・一六八〇円

日本考古学の現在

山岸良二著 四六判・一九〇頁・一七八五円

飛鳥の都市計画を解く

黒崎直著 四六判・二五八頁・二六二五円
 古代の都、飛鳥にも都市計画があった。緻密な検証により古代日本の「都市」を推理する。

古代官道の歴史地理

本木雅康著 A 5判・二八八頁・六八二五円

中世社会史への道標

阿部 猛著 A 5判・三三六頁・七八七五円

紀伊国栲田荘

海津一朗編 A 5判・三〇四頁・六八二五円

沖縄学事始め

泉 武著 四六判・二四〇頁・予価二五二〇円
 本島や宮古諸島、八重山諸島等を探索し、文化の本質や生死観に迫る。生きた「沖縄」を知る解説書。

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込)
 TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail douseisha@nifty.com



限りなく広がる知識の世界

辞典800点突破!

○九八五 亮恵書状
〔封紙ウハ恵〕
最上宝珠院御房 亮恵
符進之候、御方折念事、涯分抽
遠路御音信、殊板物送給候、若
御送、御苦勞難申謝候、誠今度



戦国遺文〔房総編全四巻〕第二巻発売
黒田基樹・佐藤博信・滝川恒昭・盛本昌広編 第二巻には
天文八年(一五三九年)から天正元年(一五七三年)まで三十四
年間の房総関係文書・銘文等七三九通を収録。関東全域の政
治史の様相がよくわかる。A5判 三一六頁 一七八五〇円

『鎌倉遺文』の研究
瀬野精一郎著 基本史料の十全な活用するために『鎌倉遺
文』について、年号、人名などの確定や比定、及び文書名、
発給年月日の訂正他数々の貴重な提言や問題提起を行い、今
後の研究課題を取り上げる。A5判 三一六頁 九四五〇円

交響する古代 ー東アジアの中の日本ー
石川日出志・日向一雅・吉村武彦編 歴史学・考古学・文学
の領域を視座に入れて新たな古代学を構築するために、日本
の古代史を学際的、国際的にとらえるべく、さまざまなテー
マで取り組んだ論文を収録。 菊判 四七〇頁 七七八五円

比較史的にみた近世日本 ー「東アジア化」をめぐってー
趙景達・須田 努編 東アジア世界における日本の「近世化」
(宮嶋博史)東アジア世界の再序列化と近世日本(深谷克己)東
アジアの「近世化」の比較史的検討(山田 賢)等の論稿とシン
ポジウムを併載。東アジア史から日本近世史を考察三三六〇円

(価格税込)

<http://www.tokyodoshuppan.com>

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話03-3233-3741 FAX03-3233-3746

ギリシアの古代

歴史はどのように
創られるか？

R・オズボン著／佐藤昇訳 四六上製 二七〇頁 ￥二九四〇

古典期までのギリシア史と、その研究法の基礎 (万水歴史全書81)

人種差別の世界史

白人性とは何か？
(万水歴史全書82)

藤川隆男著 時代と共に変化する人間社会、白人性の概念、差別意識。身近な処から世界へ 四六上製 二七〇頁 ￥二四一五

ヨーロッパの北の海

北海・バルト海
の歴史

D・カービー、M・L・ヒンカネン著／玉木俊明他訳

北海・バルト海の古代から現代まで、文化・社会・経済・政治の
すべて A5上製 四五二頁 ￥六三〇〇

生まれる歴史、創られる歴史

アジア・アフリカ史研究の最前線から

永原陽子編 アジア・アフリカの様々な地域において、「歴史」は
如何に描かれてきたか A5上製 二四〇頁 ￥三〇四五

百年戦争

中世末期の英仏関係 万水歴史全書80

城戸毅著

四六上製 三三〇頁 ￥三一五〇

階級という言葉

イングランド労働者階級の政治社会史
一八三二―一九八二年

G・ステッドマン・ジョーンズ著／長谷川貴彦訳 (人間科学叢書44)

イギリスのニエレクトラト史学において、トムソンの「イングランド労働者階級の形成」となる記念碑的著作。歴史学における言語論的転回象徴 A5上製 三三〇頁 ￥四七二五

中世イスラーム国家の財政と寄進

後期マムルーク朝の研究

五十嵐大介著 A5箱 三五〇頁 ￥七三三五
マムルーク朝史の全体像を問い直す新研究

建国初期アメリカ財政史の研究

モリス財政政策から
ハミルトン体制へ

松本幸男著

A5箱 三四〇頁 ￥六九三〇

この1冊から始まる世界史への道

新しい時代の新しい歴史101冊 [内容見本呈]

世界史の鏡

樺山紘一編
四六並製 一六〇頁 各￥一六八〇

歴史家たちのユートピアへ―国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 0巻 ◆歴史家の苦悩と喜びを振り返る

ハイチの栄光と苦難―世界初の黒人共和国の行方

浜忠雄著 地域6 ◆独立後200年の危機。ハイチから見た世界史

イタリア都市の諸相―都市は歴史を語る

野口昌夫著 都市4 ◆歴史が層になって見える都市

本を読むデモクラシー―読者大衆の出現

宮下志朗著 情報3 ◆日仏庶民の読書初めはいつか？

ナイール―地域をつむぐ川

加藤博著 地域7 ◆文明の十字路／人種と民族のるぼ

イブラヒム、日本への旅―ロシア・オスマン帝国・日本

小松久男著 地域10 ◆アジア主義者との深い絆

中国明末のメディア革命―庶民が本を読む

大木康著 情報4 ◆500年前の絵入り小説大流行

ジハードの町タルスース―イスラーム世界と

太田敬子著 都市3 ◆聖戦のための前線基地

森と川―歴史を潤す自然の恵み

池上俊一著 環境9 ◆ヨーロッパ中世の人と自然。新しい環境史

イギリス発見の旅―学者と女性と観光客

指昭博著 情報6 ◆イギリス人の「お国意識」誕生を探る

農業と遊牧の交わる都 北京

妹尾達彦著 環境2 ◆ユーラシア大陸全体を俯瞰して北京を語る

全101巻・現在第1期51巻 続々刊行・好評です

次回
配本次回
配本次回
配本次回
配本次回
配本次回
配本次回
配本次回
配本【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

〔増補〕歴史遊学

学習院大学文学部史学科 編
A5判 2415円
歴史を学ぶ、歴史を研究する、とはどのようなことが、史料を通して過去と触れあうおもしろさを、いくつもの題材から生き生きと語る。

日本史リフレット人

A5変型判 各840円

23 奥州藤原三代

●「武家の世」を切り開いた政治家
●北方の覇者から平泉幕府構想へ
●強大な権力と独自の文化。近年の研究で認識が一新した奥州藤原氏と平泉の世界を訪ねる。

齊藤利男

25 平清盛

●「武家の世」を切り開いた政治家
●悪役のイメージではなく、政治を武士が主導する新たな時代の幕を開けた、政治家としての清盛の姿を描く。

上杉和彦

84 岡倉天心と大川周明

●「アジア」を考えた知識人たち

●アジアという概念についてそれぞれが展開した言論活動を分析し、近代日本にとつてのアジアの意味を考える。

塩出浩之

琉球からみた世界史

村井章介・三谷博 編
A5判 3000円
近代以前の琉球史のもつ世界的意味を探り、さらには今後の課題を考える。

都市の比較史 年報都市史研究 18

2009年の都市史研究会のシンポジウムを特集として収録。
ほかに論文・研究ノート・新刊紹介・ラウンドテーブル・都市史を歩む・時評などを掲載。

3990円

別冊都市史研究

伝統都市を比較する

〔飯田とシャルル维尔〕

高澤紀恵 吉田伸之

フランソワ・ジョゼフ・ルツィウ・ギョーム・カレ 編
小規模なふたつの伝統都市を比較類型的に把握する。「小規模伝統都市論」と、パリや大坂にも素材を広げた「伝統都市の周縁」の2部構成。

5460円

もういちど読む山川倫理

小寺聡 編 A5判 292頁 1575円

高校の倫理教科書を一般読者のために書き改めた社会人のための教科書。人物紹介、コラム、資料を駆使して理解を助ける。

日本史／世界史／政治経済 各1575円

レンズが撮らえた幕末の日本

岩下哲典／塚越俊志 著 菊5判 208頁 1680円

幕末の動乱期に活躍した人びとや当時の町並み、街道の風情、そして庶民の生活など、レンズを通して切り取った貴重な一瞬の歴史を再現する。多色刷

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

結城城 祇園城・金山城・箕輪城…北関東の名城64

関東の名城を歩く

峰岸純夫・齋藤慎一編 北関東編 茨城・栃木・群馬

ファン必読 城郭

最新の各種成果に文献による裏付けを加えた新しいガイドブック誕生！ 2310円(5月の新刊)・内容案内送呈(7月刊)・南関東編(埼玉・千葉・東京・神奈川) 2415円



歌舞伎から江戸を読み直す

田口章子著

一恥と情

1890円●5月の新刊

「假名手本忠臣蔵」などの作品から、現代人には忘れられた日本人の伝統を問い直す。

「蛮社の獄」のすべて

歴史文化ライブラリー

3990円●6月の新刊

田中弘之著

事件の本質は「蘭学者への弾圧」だけなのか？ 新たな視点で、研究史の空白に迫る。

すべての道は平城京へ

古代国家の

1890円●5月の新刊

地図から消えた島々

幻の日本領と

1890円●5月の新刊

戦国時代の足利将軍

山田康弘著

1785円●6月の新刊

戦国時代百年もの間、なぜ将軍は滅びなかったのか、知られざる将軍・幕府の実態に迫る。

歴史人口学で読む江戸日本

浜野 潔著

1785円●6月の新刊

江戸時代と少子化社会があった！ 新たな江戸日本の姿

鎌倉古社寺辞典

吉川弘文館編集部編

2835円●6月の新刊

ロマンあふれる古社を旅する、必携ハンドブック！ 約一五〇の社寺を取録

現代語訳 家康公伝 全5巻 刊行中



大石 学・佐藤宏之編
小宮政和・野口朋隆



三河から関東の覇者へ

逸話編

人買生活から五大を筆頭へ。さまざまな逸話を集めた、エピソード編第1冊。2835円●5月の新刊

中世 災害・戦乱の社会史

藤野純夫著

自然災害と紛争・戦乱との密接な関係とは？ 現代の危機管理に警鐘を鳴らす名著！ 2415円●6月の新刊シリーズ第V期 刊行開始

平城宮第一次大極殿院跡 29400円●6月の新刊

古代宮都の内裏構造 橋本義則著 11550円●6月の新刊

日本古代国制史論 佐々木宗雄著 11550円●6月の新刊

古代・中世遺跡と歴史地理学 金田章裕著 9975円●6月の新刊

中世南都仏教の展開 追地千尋著 11550円●6月の新刊

近世前期朝幕関係の研究 田中晩庵著 10500円●6月の新刊

戦国時代狩野派の研究 野野元信著 31500円●5月の新刊

古文書研究 第71号 日本古文書学会編集 39900円●5月の新刊

鎌倉遺文研究 第27号 鎌倉遺文研究会編集 21000円●5月の新刊

日本の食文化史年表

江原純子編

狩猟・採集からレトルト食品・外食産業まで、日本人の「食」のすべてがわかる楽しい年表

東四柳祥子編 便利・詳細な索引付。5250円●6月の新刊



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8
電話 03-3813-9151 (価格は税込)
<http://www.yoshikawa-k.co.jp/>

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <休>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355 <担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル <担当者・豊田達也>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0054 千代田区神田錦町3-6 石澤ビル3F <担当者・須藤 圭>
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2011年7月1日発行、第196号

発行 歴史書懇話会

113-0033 文京区本郷7-2-8
法藏館書店

吉川弘文館内
(非売品)

取扱店

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL.075-343-0458 FAX.075-371-0458